

### Ⅲ 複数の障害教育部門を併置する学校の利点を活かした教育の推進事業報告

#### 複数の障害教育部門を併置する学校の利点を活かした教育の推進事業

##### <委員>

能瀬 廉英	多摩市立教育センター特別支援教育担当	学識経験者
濱田 豊彦	東京学芸大学教授	学識経験者
杉野 学	都立多摩桜の丘学園 統括校長	
明官 茂	都立町田の丘学園 統括校長	
大伊 信雄	都立あきる野学園 統括校長	
山口 真佐子	都立府中けやきの森学園 統括校長	
信方 壽幸	都立立川ろう学校 統括校長	
下島 啓道	都立久我山青光学園 校長	

##### <作業部会>

中村 理恵	都立多摩桜の丘学園教諭(知)	研究推進担当
佐藤 匡郁	都立多摩桜の丘学園教諭(肢)	研究推進担当
田中 顕一	都立町田の丘学園主幹教諭(肢)	研究推進担当
小笠原 靖子	都立あきる野学園主任教諭(知)	研究推進担当
泉 慎一	都立あきる野学園主幹教諭(肢)	研究推進担当
二宮 啓子	都立府中けやきの森学園主幹教諭(知)	研究推進担当
佐藤 昌彦	都立府中けやきの森学園主幹教諭(肢)	研究推進担当
守屋 新一	都立久我山青光学園主幹教諭(視)	研究推進担当
前富里 英光	都立久我山青光学園教諭(知)	研究推進担当
田村 香	都立立川ろう学校主任教諭(聴)	研究推進担当

### Ⅲ 複数の障害教育部門を併置する学校の利点を活かした教育の推進事業報告

複数の障害教育部門を併置する利点



#### 豊富な人材



#### 豊富な教育資源



- 施設・設備の活用
- 教材・教具の活用

#### 教師の専門性の発揮

児童・生徒一人一人の成長・発達を支援するために、それぞれの教育部門が保有する「専門性」を効果的に組み合わせる。



#### すべての児童・生徒のために

当該の児童・生徒だけでなく、教員にとっても、保護者にとっても、学校にとっても、効果の高い教育実践を行う。



#### 授業改善

- 肢体不自由教育部門の自立活動の指導の充実
- 知的障害教育部門の自立活動の指導の充実（1）
- 知的障害教育部門の自立活動の指導の充実（2）
- 視覚障害教育部門の自立活動の指導の充実
- 知的障害教育部門における学校生活の充実

#### 経営協力

- 障害が重複する児童の教育相談の充実(1)〈就学相談〉
- 障害が重複する児童の教育相談の充実(2)〈転学相談〉
- 障害が重複する生徒の進路指導の充実
- それぞれの専門性を発揮した教職員研修(1)
- それぞれの専門性を発揮した教職員研修(2)

#### 学校間連携

- 聴覚障害特別支援学校のセンター的機能の活用
- 知的障害特別支援学校のセンター的機能の活用

